

情報システム学科

IT/ICT業界でプロジェクトマネージャとして活躍できる人材を育成

システムデザインとICTアセスメントの2つの分野を学ぶことで、システム構築側と利用者・運用者側の双方の視点から、情報システムの知識・技術を総合的に修得します。

研究分野と学びの流れ

集大成として卒業研究に取り組む

4年次は専門分野について自主的に研究を進め、大学生活4年間の集大成として卒業研究に取り組めます。

研究室に所属し学びを深める

3年次からは各研究室に配属されます。1年間を通して具体的な事例とともに、研究テーマの見つけ方や研究の進め方などを学ぶ、少人数制の「事例研究」を行います。

専門分野の学修を進める

2年次からは各専門分野の科目を中心に学修を進めます。

教養・基礎力を養う

教養・基礎科目および情報学・数学の基礎力、プログラミングなどを修得しながら、自分の興味のある分野を絞り込んでいきます。



情報システム学科の特徴

特徴 1

C言語やJavaなどのプログラミング言語、Web制作用言語、画像・映像・音といったメディア処理技術など「システム構築力」が身に付きます。

特徴 2

要素技術の知識をもとに情報システムを構築する「システムデザイン」の方法を実践的に学びます。

特徴 3

利用者のニーズを調査・分析して実現・評価・改善する方法を学び、情報システムをプロデュースできる「ICTアセスメント力」を鍛えます。

めざせる資格

- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 基本情報技術者
- ITサービスマネージャ

卒業後の進路は P.100へ▶

●…所定の単位を修得すると得られる資格(実務・研修・講習を含む) ■…めざせる資格 ▶教職課程・資格の詳細はP.81

4年間のカリキュラム

年次	科目	専門科目				
		専門基礎科目	学科基礎科目	学科専門科目 [システムデザイン分野]	学科専門科目 [ICTアセスメント分野]	卒業研究 関連科目
4年次	前期			主な卒業研究テーマ ● 知的なコミュニケーションロボット ● 現実とCGの融合による3次元コンテンツ ● 4K映像を用いた自由視点映像伝送 ● Twitterを活用した安否情報共有システム ● 電子商取引に関わるアプリケーション	卒業研究	事例研究 卒業研究では、各研究室で集中的に専門知識を学びます。
	後期					
3年次	前期	情報の倫理 データ分析法		サーバシステム構築 サーバ管理演習 マルチメディア情報処理 コンピュータシミュレーション マルチメディア記述法 ビジュアライゼーション	組織とマネジメント 企業統治と情報管理	事例研究
	後期	アカウントシステム		Webプログラミング	システムソリューション ネットワークセキュリティ	
2年次	前期	情報と職業 情報と法 メディアと表現	微積分学 II 線形代数学 II 確率統計 情報理論 プログラミング演習 A プログラミング演習 B デジタル信号処理 情報セキュリティ		電子商取引論	
	後期	データベース キャリアデザイン サイエンス・スタディーズ	★システム開発演習 A システム開発演習 B ★LAN環境演習 オブジェクト指向方法論 人工知能とデータマイニング ヒューマンコンピュータインタラクション	授業 PICK UP ★システム開発演習 A<2年次>  DVDレンタル会社から商品・顧客管理システムの開発を受注した場面を想定し、数名のチームでシステム開発のプロジェクトに取り組みます。コミュニケーションなどシステムエンジニアに必要なスキルも実践で学びます。		
1年次	前期	統計学基礎 テクノロジーエクスプローラ ICTアセスメント概論 情報リテラシー演習 情報と社会	教養数学 情報数学 プログラミング基礎演習 A アルゴリズムとプログラミング			
	後期	情報環境論	プログラミング基礎演習 B 微積分学 I 線形代数学 I コンピュータシステム コンピュータグラフィックス コンピュータネットワーク オペレーティングシステム ソフトウェア開発技法 LAN環境演習*	授業 PICK UP ★LAN環境演習<2年次>  データセンタで使われるサーバ実機を使って、Windowsサーバ用OSのインストールからはじめます。小規模なネットワークとセキュリティの適切な設定を行い、ユーザ管理とファイル共有ができる環境をグループで構築します。		

※上記のほか、教養科目、語科目などの学部・学科共通科目を設置しています。詳細はP.75をご覧ください。
 ■字は選択科目 ■字は必修科目 ■字は選択必修科目

カリキュラムは平成29年4月現在のもので、一部変更される場合があります。
 ※右上に*がついている科目はTAP参加者のみ1年次(後期)に履修できます。

専門的に学べる研究室

- 岩野研究室(音メディア処理)
音声・音楽・環境音・映像など「音」を中心としたマルチメディア情報の知的処理
- 梅原研究室(経営情報システム)
経営の視点でユーザーに役立つ情報システムの提案、活用方法の研究・構築
- 大谷研究室(人工知能)
学習・推論・知識獲得など高度な知的処理のコンピュータによる実行方法を探究
- 小倉研究室(次世代信号処理とソフトウェア)
ハードルの高いコンピュータの信号処理に対処するための次世代信号処理を研究
- 関[良]研究室(情報セキュリティ)
利用者自身が各種セキュリティの脅威を認識・対応できる情報共有システムを開発

- 藤井研究室(情報ネットワーク)
デジタル映像メディアをネットワークで流通させる技術とメディア処理技術の研究
- 宮地研究室(3次元可視化)
データを意味のある情報に変換するための3次元可視化技術の研究とシステム構築
- 八木研究室(知能メディア)
日々の生活が楽しく便利になる、使いやすい知的メディアサービスの実現をめざす
- 横井研究室(情報環境技術)
最新情報技術を活用し、快適で安全・安心な環境の創造・実現・評価を行う

研究の学び、研究室の内容は、WEBをご覧ください▶



工学部

知識工学部

環境学部

メディア情報学部

都市生活学部

人間科学部